

一般社団法人 溶接学会 2025年度 秋季全国大会開催御通知

2025年度秋季全国大会講演会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

一般社団法人 溶接学会

記

会 期：2025年9月24日(水)、25日(木)、26日(金) 大会参加費：大会参加費にデジタル概要の閲覧・ダウンロード権が含まれます。  
 会 場：燕三条地場産業振興センター 〒955-0092 新潟県三条市須頃1丁目17番地 TEL：080-2583-4397 (大会本部受付)  
 正員・賛助員：10,000円(不課税)  
 学 生 員：5,000円(不課税)  
 非 会 員(学生)：10,000円(10%税込)  
 非会員(学生以外)：20,000円(10%税込)

2025年度 秋季全国大会 日程表

日	時間	テ	マ	時間	テ	マ
9月24日(水)	第1会場 (6階 研修室①)			第2会場 (6階 研修室②)		
	10:30	疲 労 (1)	〈1-1〉	10:30	ろ う 付	〈2-1〉
	11:30			11:30		
	11:45			11:45		
	12:45	疲 労 (2)	〈1-2〉	12:45	界 面 接 合	〈2-2〉
	14:00			14:00		
	14:45	破 壊	〈1-3〉	15:00	超 音 波 接 合 ・ 拡 散 接 合	〈2-3〉
	15:00			15:15		
	16:00	変形・残留応力予測・シミュレーション(1)〈1-4〉	〈1-4〉	16:15	溶 接 割 れ	〈2-4〉
	16:30			16:15		
17:30	16:15					
18:00	特別講演「人と歴史を繋ぐ溶接技術」 齋藤 優介 氏 株式会社つばめいと コンセルジュ (元燕市産業史料館 主任学芸員) (燕三条地場産業振興センター リサーチコア7階 マルチメディアホール)					
19:30	懇 親 会 (燕三条ワシントンホテル)					
9月25日(木)	第1会場 (6階 研修室①)			第2会場 (6階 研修室②)		
	9:30	変形・残留応力予測・シミュレーション(2)〈1-5〉	〈1-5〉	9:00	ミクロ組織と特性(1)	〈2-5〉
	10:30			10:30		
	10:45	変形・残留応力予測・シミュレーション(3)〈1-6〉	〈1-6〉	10:45	ミクロ組織と特性(2)	〈2-6〉
	11:45			12:00		
	13:00	オーガナイズドセッション(疲労寿命推定1)〈1-7〉	〈1-7〉	13:00	溶接接合工学振興会 木原賞・金澤賞 受賞記念講演	
	14:15			14:30		
	14:30	オーガナイズドセッション(疲労寿命推定2)〈1-8〉	〈1-8〉	14:45	「次世代を担う研究者助成事業の成果報告会」	
	15:45			15:45		
	16:00	オーガナイズドセッション(疲労寿命推定3)〈1-9〉	〈1-9〉	17:15		
17:15						
技術セッション 13:00～16:30 (参加費 3,000円(税込)) 見学コース Aコース：三条の刃物製造を巡るコース Bコース：燕の洋食器、金型製造を巡るコース Cコース：三条と燕のものづくりをまとめて見学するコース						
16:30 若手の会 ポスターセッション (主催：若手会員の会) 18:30 (燕三条地場産業振興センター リサーチコア 7階 マルチメディアホール)						
9月26日(金)	第1会場 (6階 研修室①)			第2会場 (6階 研修室②)		
	9:30	AMに関連する周辺技術開発	〈1-10〉	9:30	Al合金、Ti合金のワイヤーを用いたAM	〈2-7〉
	10:45			10:45		
			11:00	鋼のAM	〈2-8〉	
			12:00			

技術セッション参加費：

技術セッションに参加するためには大会参加費の他に技術セッション参加費(3,000円(税込))が必要です。  
 ※技術セッション見学会は定員30名(各コース10名)(先着順)です。

参加申し込みURL

https://forms.gle/S6FanZHVop35TdGDA

事前参加登録：

2025年8月26日(火)14:00～大会終了までの日程でホームページ(http://www.jweld.jp/)にて、事前参加登録受付を開始いたします。

事前・当日にかかわらず、参加登録および参加費決済をあらかじめWEBでお済ませの上、ご来場ください。

参加登録時のお支払い方法は、クレジットカード、コンビニ決済のみになります。当日、現金での参加費のお支払いは

出来ませんのでご注意ください。

また、事前参加登録後に発行される参加証(QRコード入りネームカード)を事前にプリントアウトしてご持参の上、大会受付にご提示ください。

ネームカードホルダーは当日会場にご用意していますが、前大会のネームカードホルダーをお持ちの方は、リユースにご協力ください。

講演概要のデジタル化：

印刷物での冊子販売はしていません。事前に大会参加登録をし、会場にお越しになる前にデジタル講演概要をダウンロードし、携行するパソコン、タブレット端末、スマホなどに保存されるか、プリントアウトしてご持参されることをお奨めします。

参加受付開始時間：

9月24日(水)9:30、25日(木)8:30、26日(金)9:00

日	時間	テ	マ	時間	テ	マ
9月24日(水)	第3会場 (6階 研修室③)			第4会場 (6階 研修室④)		
	10:30	抵抗スポット溶接(1)	〈3-1〉	10:30	アーク物理(1)	〈4-1〉
	11:30			11:45		
	11:45	抵抗スポット溶接(2)	〈3-2〉	12:00	アーク物理(2)	〈4-2〉
	12:45			13:00		
	14:00	抵抗スポット溶接(3)	〈3-3〉	13:45	アーク物理(3)	〈4-3〉
	15:00			15:00		
	15:15	抵抗スポット溶接(4)	〈3-4〉	15:15	サブマージアーク溶接	〈4-4〉
	16:15			16:15		
	9月25日(木)	第3会場 (6階 研修室③)			第4会場 (6階 研修室④)	
9:00		摩擦圧接	〈3-5〉	9:30	ガスシールドアーク溶接(1)	〈4-5〉
10:15				10:30		
10:30		LFW/FSP	〈3-6〉	10:45	ガスシールドアーク溶接(2)	〈4-6〉
12:00				11:45		
13:00		FSW	〈3-7〉	13:00	狭間先溶接	〈4-7〉
14:30				14:00		
14:45		FSW(異材)	〈3-8〉	14:15	レーザ溶接・加工	〈4-8〉
16:15				15:30		
				15:45	各種接合・加工	〈4-9〉
			17:00			
9月26日(金)	第3会場 (6階 研修室③)			第4会場 (6階 研修室④)		
	9:30	FSSW	〈3-9〉	9:30	インプロセスモニタリング	〈4-10〉
	11:00			11:00		
			11:15	溶接教育・トレーニング	〈4-11〉	
			11:45			

第 1 日 (9月24日-水-)

第1会場 (6階 研修室①)			第2会場 (6階 研修室②)						
疲労 (1)			ろう付						
座長 伊木 聡 (JFEテクノリサーチ)			座長 松田 朋己 (大阪大学)						
101	10:30 ～ 10:45	疲労亀裂進展寿命に及ぼす試験体サイズの影響	大阪大学 住友重機械工業 IHI 日本製鉄 大阪大学	○桐生 泰輔 柴田 誉 森田 花清 花澤 隆行 堤 成一郎	201	10:30 ～ 10:45	チタンクラッド鋼の接合のためのZr基ろう材の開発	○舟根 雄希 山崎 敬久	
102	10:45 ～ 11:00	疲労破面の硝酸腐食とその黒錆化による疲労寿命延伸効果	大阪大学 住友重機械工業 大阪大学	○河野 拳也 柴田 誉 堤 成一郎	202	10:45 ～ 11:00	ステンレス鋼製熱交換器用途のニッケル系ろう材の凝固組織が熱伝導率に与える影響	○久保田 空 宮沢 靖幸	
103	11:00 ～ 11:15	亀裂面黒錆腐食を活用した疲労寿命延伸技術に対する弾塑性疲労性能評価	住友重機械工業 大阪大学 パドワナ大学 大阪大学	○柴田 誉 河野 拳也 フシノリカド 堤 成一郎	203	11:00 ～ 11:15	真空ろう付したステンレス鋼の鋭敏化に及ぼす塑性加工の影響	○岩原 将吾 浅間 晃司 物種 武士	
104	11:15 ～ 11:30	突合せ溶接継手の曲げ疲労性能に及ぼす形状因子の分離評価	大阪大学 ○野田 雄也 小川 大希 松田 泰久 濱田 祐希 山本 宏徳 堤 成一郎	204	11:15 ～ 11:30	Ag系ろう材/ステンレス鋼界面に形成される濃化層の形成メカニズムの検討	○鎌田 龍介 宮沢 靖幸		
11:30 ～ 11:45	休 憩		11:30 ～ 11:45			休 憩			
疲労 (2)			界面接合						
座長 堤 成一郎 (大阪大学)			座長 小 椋 智 (大阪大学)						
105	11:45 ～ 12:00	引張応力下での現場レーザーピーニングがHT780の疲労強度に及ぼす影響	米子工業高専 大阪大学	○加藤 智治 水田 好雄 玉置 悟司 佐野 雄二 横藤 光輝 崎野 良比呂	205	11:45 ～ 12:00	通電誘起高速共晶反応を用いたAl/Fe異材接合の継手強度におよぼす接合条件	三重大学 日立製作所 東京新電機 三重大学	○大本 泰成 館村 誠 浅井 久敬 川上 博士
106	12:00 ～ 12:15	接合部の散逸エネルギー計測に基づく疲労強度評価	広島大学 神戸大学 神戸大学 大阪接合研 広島大学	○小川 裕樹 鈴木 美佑 塩澤 大輝 阪上 隆英 門井 浩太 曙 紘之	206	12:00 ～ 12:15	通電誘起高速共晶反応を用いたAl/Fe異材継手接合技術に関する接合界面の形成	日立製作所 三重大学 東京新電機 三重大学	○館村 誠 大本 泰成 浅井 久敬 川上 博士
107	12:15 ～ 12:30	高圧水素ガス環境下におけるAPI 5L X65鋼管及びその円周溶接部の疲労き裂進展特性	日鉄エンジニアリング 日鉄パイプライン&エンジニアリング 大阪大学	○清川 裕樹 河合 文輝 藤田 周希 藤原 志博 真鍋 貴夫 庄田 大知	207	12:15 ～ 12:30	通電誘起傾斜構造化による銀焼結接合部の力学特性向上	○松田 朋己 岡本 拓也 神原 淳	
108	12:30 ～ 12:45	局所押圧法による面外ガセット溶接継手のルート疲労対策	日本製鉄	○鳥貫 広志	208	12:30 ～ 12:45	アルミニウム/ガラス陽極接合界面への逆電圧印加の影響	大阪接合研 ○高橋 誠	

第 1 日 (9月24日-水-)

第3会場 (6階 研修室③)			第4会場 (6階 研修室④)						
抵抗スポット溶接 (1)			アーク物理 (1)						
座長 伊與田 宗慶 (大阪工業大学)			座長 荻野 陽輔 (大阪大学)						
301	10:30 ～ 10:45	バルス電流の波形制御と休止時間自動制御によるスポット溶接における電流安定化効果の検討	本田技研工業 大阪接合研	○渡邊 信也 齊藤 仁 譚 錦英 豊田 紘樹 池田 倫正	401	10:30 ～ 10:45	ティグ溶接中のアークプラズマ挙動に与える多量に発生する金属蒸気の影響	大阪大学 阪大接合研 ムラタ溶研	○東口 和磨 古免 久弥 田中 唯子 村田 彰久
302	10:45 ～ 11:00	鋼板同士の抵抗スポット溶接における複数同心円溝形電極の検証	○浜口 拓也 松蔭 武士 日産自動車 木下 圭介 由布 大志 樽井	402	10:45 ～ 11:00	アルゴン-窒素混合ガスを用いたティグ溶接における電極の消耗特性	大阪技術研 阪大接合研 大阪技術研 阪大接合研	○田中 慶吾 古免 久弥 山口 拓人 田中 学	
303	11:00 ～ 11:15	スポット溶接解析のナゲット成長過程および変形形態に及ぼす流動応力のひずみ速度依存性の影響	○梅田 侑暉 沖田 泰明 JFE スチール 谷口 公一 上月 渉平 植田 圭治	403	11:00 ～ 11:15	アルゴン-窒素混合ガスを用いたティグ溶接における窒素プラズマ分布の数値計算	阪大接合研 大阪技術研 阪大接合研	○古免 久弥 慶吾 田中 山口 拓人 田中 学	
304	11:15 ～ 11:30	超ハイテンススポット溶接部の局所変形挙動と組織の関係の解析 (第3報)	JFE スチール 東京大学	○谷口 公一 主 圭治 植田 将一 南部 将一 Sien Liu	404	11:15 ～ 11:30	模擬・擬似火星大気中における交流GTAの放電現象の観察	香川高専 阪大接合研	○佐立 優心 正信 一郎 山下 智彦 津守 伸宏 古免 久弥 田中 学
11:30 ～ 11:45	休 憩		11:30 ～ 11:45			休 憩			
抵抗スポット溶接 (2)			アーク物理 (2)						
座長 岩 瀬 哲 (神戸製鋼所)			座長 田 中 慶 吾 (大阪産業技術研究所)						
305	11:45 ～ 12:00	抵抗スポット溶接部の硬さ分布に及ぼす焼戻し通電の影響	○川邊 直雄 遠藤 玲子 JFE スチール 谷口 公一 高島 克利	405	11:45 ～ 12:00	三次元発光分光法を用いた非軸対称なアークプラズマ現象の動的溫度場の計測	阪大接合研 大阪大学	○松本 咲季 古免 久弥 田中 学 野村 和史	
306	12:00 ～ 12:15	炭素鋼の固相抵抗スポット接合部における水素脆化感受性	大阪大学 阪大接合研 大阪工業大学 阪大接合研	○谷本 明洋 山下 享介 潮田 浩作 仲井 正昭 藤井 英俊	406	12:00 ～ 12:15	マグ溶接プロセスにおける熱源と溶融池のカップリングシミュレーション	大阪大学	○山口 雄也 佐野 智一 荻野 陽輔
307	12:15 ～ 12:30	異種金属シリーズ式マイクロプロジェクトン溶接に関する検討 (第1報)	大阪大学 日本アビオニクス 大阪工業大学 阪大接合研	○伊藤 斗樹 平松 茂 関本 隆司 伊與田宗慶 池田 倫正	407	12:15 ～ 12:30	MAG溶接溶込み形状解析におけるアーク圧力径と溶込み深さに関する研究	スズキ 大阪大学	○岩下 一晶 岡本 考司 安座間高史 宮坂 史和 岸澤 久
308	12:30 ～ 12:45	異種金属シリーズ式マイクロプロジェクトン溶接に関する検討 (第2報)	大阪大学 日本アビオニクス 大阪工業大学 阪大接合研	○伊藤 斗樹 平松 茂 関本 隆司 伊與田宗慶 池田 倫正	408	12:30 ～ 12:45	溶込み深さに関する研究 - 第2報: 実車への適用 -	大阪大学	○岩下 一晶 岡本 考司 安座間高史 宮坂 史和 岸澤 久

第 1 日 (9月24日-水-)

第1会場 (6階 研修室①)		第2会場 (6階 研修室②)	
12:45 ～ 14:00	休憩	12:45 ～ 14:00	休憩
<b>破壊</b> (1-3)		<b>超音波接合・拡散接合</b> (2-3)	
座長 島 貫 広 志 (日本製鉄)		座長 山 崎 敬 久 (東京科学大学)	
109	14:00 ～ 14:15	高 Mn オーステナイト鋼の機械的特性と靱性の温度依存性に関する実験的検討	大阪大学 ○細井戸智也 庄司 博人 JFE スチール 泉 大地 大阪大学 大畑 充
110	14:15 ～ 14:30	ナノインデンテーション法を用いた Fe/Al 異種金属接合界面における金属間化合物層のき裂発生応力の評価	東北大学 ○鈴木 聖顯 九州工業大 錦田 駿 東北大学 佐藤 裕
111	14:30 ～ 14:45	建築鉄骨柱梁接合継手の耐震変形性能に及ぼす溶接部性状の影響の解析的検討	大阪大学 ○佐々木開晟 庄司 博人 JFE スチール 梅田 敏弘 大阪大学 大畑 充
14:45 ～ 15:00	休憩	14:45 ～ 15:00	プレートフィン式熱交換器の固相拡散接合性と継手強度に関する評価手法の開発
<b>変形・残留応力予測・シミュレーション (1) (1-4)</b>		15:00 ～ 15:15	
座長 永 木 勇 人 (高田機工)		休憩	
112	15:00 ～ 15:15	理想化陽解法 FEM を用いた補修溶接時における力学挙動についての検討	大阪公立大学 ○清水 山内 大毅 輝達 住友化学 王 高橋 進也 大阪公立大学 星加 貫久 前田新太郎 生島 一樹 柴原 正和
113	15:15 ～ 15:30	理想化陽解法 FEM を用いた CEL 法による SPR の数値解析的検討	大阪府立大学 ○山邊 晃瑞 大阪公立大学 前田新太郎 出口 皓太 生島 一樹 柴原 正和
114	15:30 ～ 15:45	相変態を考慮した溶接力学解析	○横山 祐祐 佐々木駿臣 前田新太郎 生島 一樹 柴原 正和
		15:30 ～ 15:45	高倍率その場観察システムを用いた残留融液観察結果による凝固割れ発生現象の考察 溶接凝固現象の高倍率その場観察システムの開発 (第3報)
			面内拘束緩和式高温割れ評価試験システムを用いた各種ステンレス鋼の凝固割れ感受性の評価 面内拘束緩和式高温割れ評価試験システムの開発 (第4報)
			溶接割れ (2-4)
			座長 柳 楽 知 也 (物質・材料研究機構)
			広島大学 ○伊藤 環 楊 少偉 胡 梓洋 丸本 啓太 森崎 賢二 山本 元道 富田 海 沖田 泰明
			JFE スチール
			大阪大学 ○胡 梓洋 楊 少偉 伊藤 環 丸本 啓太 森崎 賢二 山本 元道 富田 海 沖田 泰明
			JFE スチール

第 1 日 (9月24日-水-)

第3会場 (6階 研修室③)		第4会場 (6階 研修室④)	
12:45 ～ 14:00	休憩	12:45 ～ 13:00	数値シミュレーションを用いた周期的アルゴン添加による炭酸ガスアーク溶接における溶滴移行制御の現象解明
		13:00 ～ 13:45	休憩
<b>抵抗スポット溶接 (3)</b> (3-3)		<b>サブマージアーク溶接</b> (4-4)	
座長 渡 辺 由 布 (日産自動車)		座長 阿 部 洋 平 (カナデビア)	
309	14:00 ～ 14:15	凸形界面を有する鋼/Al 合金異材抵抗スポット溶接継手における十字引張強さの向上因子に関する検討	大阪工業大学 ○久保 奎太 神戸製鋼所 岩瀬 哲 大阪工業大学 伊與田宗慶
310	14:15 ～ 14:30	Al 合金板と銅板の3枚重ね異材スポット溶接における IMC 形成機構の検討	阪大接合研 ○池田 倫正 Pan Haoyang 成田健一郎 ナ・デックス 賢治 川松 悟
311	14:30 ～ 14:45	鋼-Al 合金抵抗スポット溶接における外的振動負荷が IMC 層に及ぼす影響	○劉 泓江 九州工業大学 北村 貴典 村井 南月
312	14:45 ～ 15:00	Fe/Cu 異材マイクロスポット溶接継手の接合部特性に及ぼすタブ材スリットサイズの影響に関する検討	大阪工業大学 ○多田 裕大 豊山 蒼生 日本アビオニクス 平松 茂 関本 隆司 阪大接合研 池田 倫正 大阪工業大学 伊與田宗慶
15:00 ～ 15:15	休憩	15:00 ～ 15:15	休憩
313	15:15 ～ 15:30	アルミニウム合金の抵抗スポット溶接継手の継手特性 - 第三報 -	日産自動車 ○松藤 武士 大阪工業大学 伊與田宗慶 日産自動車 木下 圭介 渡辺 由布 樽井 大志
314	15:30 ～ 15:45	銅-アルミニウム異種材料の固相抵抗スポット溶接	大阪大学 ○加瀬 部隆太 阪大接合研 好明 山下 亨介 グイヘン ジョセマアピシヨウ 東京科学大学 瀧内 淳作 阪大接合研 菅井 正善 菅内 真章 藤井 正昭 藤井 英俊
		15:30 ～ 15:45	サブマージアーク溶接におけるキャビティ挙動の X 線透過観察 デジタルサブマージアーク溶接システムの開発 (第四報) -
			ダイヘン ○馬場 勇人 本田 怜央 西坂 太志 阪大接合研 谷川 昌樹 阪大接合研 吉良 哲生 吉良 久弥 田中 学
			サブマージアーク溶接におけるキャビティがアーク電圧に及ぼす影響 デジタルサブマージアーク溶接システムの開発 (第五報) -
			ダイヘン ○馬場 勇人 本田 怜央 西坂 太志 阪大接合研 谷川 昌樹 阪大接合研 吉良 哲生 吉良 久弥 田中 学

第 1 日 (9月24日-水-)							
第1会場 (6階 研修室①)			第2会場 (6階 研修室②)				
115	15:45 ～ 16:00	変態塑性を考慮した構造用鋼の溶接残留応力解析	日本製鋼所 ○橋場 大輔 後藤 吉弘 柳沢 祐介 河原 充 生島 一樹 柴原 正和	215	15:45 ～ 16:00	800H合金溶接金属の時効脆化割れに及ぼす硫黄の影響	大阪大学 ○平井 大貴 浄徳 佳奈 山田 健太 山下 正太郎 才田 一幸 平田 弘征
				216	16:00 ～ 16:15	低温割れを活用した炭素鋼の新規分離技術	阪大接合研 朋生 大阪大学 山下 享介 7Fシミュレーションラボ 好昭 森貞 浩作 潮田 藤井 英
	16:00 ～ 16:30	休 憩			16:15 ～ 16:30	休 憩	
	16:30 ～ 17:30	特別講演「人と歴史を繋ぐ溶接技術」 齋藤 優介 氏 株式会社つばめいと コンシェルジュ (元燕市産業史料館 主任学芸員) 司会 田中 学 会長 (燕三条地場産業振興センター リサーチコア 7階 マルチメディアホール)					
	18:00 ～ 19:30	懇 親 会 (燕三条ワシントンホテル)					

第 1 日 (9月24日-水-)							
第3会場 (6階 研修室③)			第4会場 (6階 研修室④)				
315	15:45 ～ 16:00	SUS304ステンレス鋼とA6061-T6アルミニウム合金のスポット低温鍛接継手強度と接合界面反応に及ぼす圧下比及び接合温度の影響	富山県産技研開発 ○山岸 英樹	417	15:45 ～ 16:00	キャビティがアーク特性に及ぼす影響の数値計算ーデジタルサブマージアーク溶接システムの開発 (第六報)ー	阪大接合研 ○古免 久弥 ダイヘン 田中 学 馬場 勇人 本田 悦史 西坂 太志 阪大接合研 ダイヘン溶接・接合協働研 恵良 哲生
316	16:00 ～ 16:15	アルミニウム合金管とステンレス鋼板との抵抗溶接における継手性能	○喜多川 絃輔 三重大学 尾崎 仁志 川上 博士	418	16:00 ～ 16:15	ホットワイヤを使用したサブマージアーク溶接 (H-SAW) 工法の開発ー耐候性鋼を用いた鋼床版デッキへの適用ー	○奥村 泰輔 日本ファブテック 上野 康雄 黒田 尚武
	16:15 ～ 16:30	休 憩			16:15 ～ 16:30	休 憩	
	16:30 ～ 17:30	特別講演「人と歴史を繋ぐ溶接技術」 齋藤 優介 氏 株式会社つばめいと コンシェルジュ (元燕市産業史料館 主任学芸員) 司会 田中 学 会長 (燕三条地場産業振興センター リサーチコア 7階 マルチメディアホール)					
	18:00 ～ 19:30	懇 親 会 (燕三条ワシントンホテル)					

第 2 日 (9月25日-木-)

第 1 会場 (6 階 研修室①)		第 2 会場 (6 階 研修室②)	
		ミクロ組織と特性 (1) <2-5>	
		座 長 鴛 田 駿 (九州工業大学)	
		217	9:00 ~ 9:15 スーパーオーステナイト系ステンレス鋼におけるホットワイヤ TIG 溶接部の耐食性に及ぼす溶加材質の影響 日本冶金工業 ○玉田 俊宏 広島大学 御幸 正則 山本 元道 篠崎 賢二 丸本 啓太 石橋 摩大
変形・残留応力予測・シミュレーション (2) <1-5>		218	9:15 ~ 9:30 TIG 溶接の低溶接速度下でのオーステナイト鋼の組織形成のその場観察 物質・材料研究機構 ○柳 知也 北野 明一 吉中 奎貴 高森 晋 小林 正樹 澤口 孝宏 山下 季介 青木 祥宏 藤井 英俊
座 長 芹 澤 久 (大阪大学)		阪大接合研	
116	9:30 ~ 9:45 適応的メッシュ細分化を用いた移動熱源解析の高速化	219	9:30 ~ 9:45 Fe-Cr-Ni 三元系ステンレス鋼における 475℃脆化挙動に対する Ni の影響 (第一報) 大阪大学 ○青柳 吟 山下 正太郎 才田 一幸 平田 弘征
117	9:45 ~ 10:00 多層溶接時における拘束治具が溶接変形に及ぼす影響の検討	220	9:45 ~ 10:00 エレクトロスラグ溶接した Ni 合金溶接金属における二相分離と極低温じん性向上 大阪大学 ○本田 幸也 阪大接合研 伊藤 和博 高橋 誠 神戶製鋼所 HONG Seong Min HAN Peng 北川 良彦
118	10:00 ~ 10:15 機械学習を用いた多層溶接継手における溶接変形予測	221	10:00 ~ 10:15 高 Mn オーステナイト溶接金属の機械的特性におよぼす Si の影響 JFE スチール ○渡邊 一史 谷口 公一 植田 圭治
119	10:15 ~ 10:30 熱弾塑性解析理論に基づくグラフィニューラルネットワークを用いた高速代理モデルの開発	222	10:15 ~ 10:30 レーザー熱処理で改質した熱間工具鋼の熱影響部組織の解析 北海道総合研究機構 ○櫻庭 洋平 北海道工技センター 川上 諒大 北見工業大学 高橋 英徳 大津 直史
10:30 ~ 10:45	休 憩	10:30 ~ 10:45	休 憩
変形・残留応力予測・シミュレーション (3) <1-6>		ミクロ組織と特性 (2) <2-6>	
座 長 中 谷 光 良 (カナデピア)		座 長 山 下 正 太 郎 (大阪大学)	
120	10:45 ~ 11:00 材料特性採取位置が溶接残留応力解析結果に及ぼす影響	223	10:45 ~ 11:00 鋼 / 430 ステンレス鋼の異材 TIG 溶接部のミクロ組織と機械的特性 東北大学 ○鈴木 聖顕 岩谷産業 佐藤 国裕 吉田 小池 佳史
121	11:00 ~ 11:15 オーステナイト系ステンレス鋼配管円周多層溶接継手内面における硬さ・残留応力に及ぼす溶接施工条件の影響	224	11:00 ~ 11:15 局所抵抗加熱を用いた低変形固相接合による単結晶 / 多結晶ニッケル基超合金の接合 東北大学 ○茂木 漢胡 王 潤梓 鈴木 聖顕 鍋田 駿 佐藤 裕

第 2 日 (9月25日-木-)

第 3 会場 (6 階 研修室③)		第 4 会場 (6 階 研修室④)	
摩擦圧接 <3-5>		ガスシールドアーク溶接 (1) <4-5>	
座 長 山 下 享 介 (大阪大学)		座 長 金 丸 周 平 (太陽日酸)	
317	9:00 ~ 9:15 ABS 樹脂と SUS304 との摩擦圧接における摩擦過程での温度計測	318	9:15 ~ 9:30 高張力鋼摩擦スクッド接合における低推力負荷条件下での継手強度の検討
	○松原 大和 兵庫県立大学 木村 真見 日下 正広	○村田 匠 兵庫県立大学 木村 真見 日下 正広	
319	9:30 ~ 9:45 A3003/SUS304 摩擦圧接継手の引張強さに及ぼす後熱処理時間の影響	320	9:45 ~ 10:00 アルミニウム合金と β チタン合金の異材摩擦圧接における接合界面形成
	○木村 真見 兵庫県立大学 日下 正広	○馬袋 公基 東京科学大学 山崎 敬久	
321	10:00 ~ 10:15 7000 系アルミニウム合金 / 鉄鋼材料の異材摩擦圧接における後熱処理による継手強度と破断形態の改善	322	10:00 ~ 10:15 薄板重ね溶接継手における溶接スラグに及ぼすシールドガス組成の影響 (第 3 報) 酸素ガス比率とスラグ中導電相の関係
	○青木陽太郎 大阪大学 小椋 智	○熊谷 和磨 神戶製鋼所 井海 和也	
10:15 ~ 10:30	休 憩	10:15 ~ 10:30	溶接中の適正画像取得のための撮影条件選定 可視化技術を活用した溶接技能者教育システムの開発 (第 2 報)
		422	○劉 国梁 宮村 一輝 HU NGUYEN HUONG 丸本 啓太 山本 元道 中村 敬人 小橋 泰三 岡部 俊明 武田 哲之
LFW/FSP <3-6>		ガスシールドアーク溶接 (2) <4-6>	
座 長 木 村 真 晃 (兵庫県立大学)		座 長 田 代 真 一 (大阪大学)	
322	10:30 ~ 10:45 線形摩擦接合したインバー合金継手の微視組織と残留応力	323	10:45 ~ 11:00 低炭素鋼のマランゴニ内向き対流を利用した TIG 深溶け込み溶接 新形状開先の開発報告 (第 2 報)
	○高橋 佳大 山下 享介 アビオコシキ 潮田 浩作 藤井 英俊	○吉井 梢見 大阪大学 宮坂 史和 岡田 一志	丸島アクアシテム ○亀谷 博仁 阪大接合研 伊藤 忠男 藤井 英俊 森真 好昭
324	11:00 ~ 11:15 A1070 アルミニウムと TP340 チタンとの異材円盤摩擦接合における接合界面形状に及ぼす円盤厚さの影響	324	11:00 ~ 11:15 開先材を用いた鋼の TIG 溶接における継手強度と電極角度の関係
	○山崎 未侑 柴柳 敏哉	424	○福島 義弘 川上 博士

第 2 日 (9月25日-木)							
第 1 会場 (6階 研修室①)		第 2 会場 (6階 研修室②)					
122	11:15 ～ 11:30	マグネシウム合金溶接継手のドライレーザビームニング	○小山 祐哉 大満 和人 佐野 智一	225	11:15 ～ 11:30	低温鍛接法で接合した陽極酸化A6063-T5材の接合強度に及ぼす圧下比の影響	YKK AP ○小林 勲 富山県産技研開発 山岸 英樹 東北大学 佐藤 裕
123	11:30 ～ 11:45	音弾性法によるアルミニウム合金溶接部の非破壊残留応力測定に関する検討	○中川 素晴 岡野 成威 望月 正人	226	11:30 ～ 11:45	硬質クロムめっき代替を目的としたレーザークラッド用粉末の開発	○松尾 健太 大西 真也 山本 隆久 澤田 俊之
	11:45 ～ 13:00	休憩		227	11:45 ～ 12:00	廃棄粉末を有効利用した温熱健康器具用玉石の製造方法の開発 -焼結条件の基礎的検討-	近畿高エネルギー加工技研 ○西田 英人 佳朗 関西工事 土井 久木元悦子 北川 望 近畿高エネルギー加工技研 中田 一博
					12:00 ～ 13:00	休憩	
オーガナイズドセッション (疲労寿命推定1) (1-7)							
座長 野瀬 哲郎 (日鉄溶接工業)							
124	13:00 ～ 13:30	〔基調講演・30分〕 鋭化亀裂から鈍化亀裂への遷移現象を考慮した疲労亀裂成長式-塑性から停留亀裂に至る寿命評価-	九州大学 ○豊貞 雅宏				
125	13:30 ～ 13:45	等価分布応力と拡張き裂結合力モデルによる表面き裂の弾塑性破壊力学パラメータ評価	大阪大学 ○Zwe Letyar Htat 大沢 直樹 鹿児島大学 田中 智行 九州大学 豊貞 雅宏				
126	13:45 ～ 14:00	ADSICプログラムの実装について	JIPテクノサイエンス ○狩野 正人 九州大学 豊貞 雅宏				
127	14:00 ～ 14:15	二回の過大引張荷重負荷による疲労亀裂伝播遅延現象に関する数値解析的検討	○松田 和貴 九州大学 永金 大志 後藤 浩二				
	14:15 ～ 14:30	休憩					
オーガナイズドセッション (疲労寿命推定2) (1-8)							
座長 堤 成一郎 (大阪大学)							
128	14:30 ～ 14:45	弾塑性FEMを用いた疲労き裂進展シミュレーションシステムの構築と弾塑性挙動の観察	○早川 銀河 横浜国立大学 川村 恭己 岡田 哲男	14:30 ～ 14:45	休憩		

第 2 日 (9月25日-木)							
第 3 会場 (6階 研修室③)		第 4 会場 (6階 研修室④)					
325	11:15 ～ 11:30	マグネシウム丸棒ツールによるADC12の表面改質	○酒井 康祐 山岸 英樹 村上 聡 佐藤 智	425	11:15 ～ 11:30	クロムモリブデン鋼のバックシールドを省略した裏波ティグ溶接施工	神戸製鋼所 ○磯野 晋也
326	11:30 ～ 11:45	鉄鋼材料の摩擦攪拌積層造形に及ぼすリグ治具の影響	○石田 冬輝 山下 亨介 Sharma Abhishek 釜井 正善 森良 好昭 藤井 英俊	426	11:30 ～ 11:45	オーステナイト系ステンレス鋼の溶接継手性能およびガス置換挙動におよぼす塗素バックシールドの影響	○中野 正大 高田工業所 山口 ちひろ 浜田 宏昭
327	11:45 ～ 12:00	6061アルミニウム合金板の3層肉盛摩擦攪拌接合	○濱名 晃平 前田 将克	日本大学	11:45 ～ 13:00	休憩	
	12:00 ～ 13:00	休憩					
狭開先溶接 (4-7)							
座長 迎井 直樹 (神戸製鋼所)							
FSW (3-7)							
				427	13:00 ～ 13:15	高能率I形狭開先溶接工法の開発	日本ファブテック ○奥村 泰輔 上野 康雄 タカノクラ ES 高野倉 正三
328	13:00 ～ 13:15	摩擦攪拌接合FSWを用いたアルミニウム合金圧延材およびアルミニウムダイカスト重ね合わせ継手の疲労特性評価	○神田 涼佑 小川 裕樹 杉本 幸弘 曙 紘之 菅田 淳	428	13:15 ～ 13:30	正極性CO <sub>2</sub> アーク溶接を用いた厚鋼板の狭開先立向き溶接法の開発	○上月 渉平 荒尾 亮 安藤 彰芳 植田 圭治
329	13:15 ～ 13:30	液化水素タンク向けアルミニウム合金の摩擦攪拌接合継手の極低温特性	川崎重工業 ○春名 俊祐 真鍋 光吾	429	13:30 ～ 13:45	ホットワイヤ・レーザ法を用いた狭開先横向往姿勢溶接の検討 ホットワイヤ・レーザ狭開先溶接法の全姿勢溶接への適用検討 (第1報)	広島大学 ○中村 成貴 丸本 啓太 山本 元道 川崎重工業 吉田 昇一郎 西田 村田 隆行
330	13:30 ～ 13:45	センサデータを用いた正常データ学習モデルによる摩擦攪拌接合の欠陥検出	摂南大学 ○小田 和哉 山本金属製作所 村上 浩二 摂南大学 諏訪 晴彦	430	13:45 ～ 14:00	ホットワイヤ・レーザ法を用いたアルミニウム合金狭開先溶接技術の検討 ホットワイヤ法を用いたアルミニウム合金の高能率溶接技術の開発 (第1報)	○貞末 峻 99-7791710 広島大学 丸本 啓太 山本 元道
331	13:45 ～ 14:00	摩擦攪拌接合した二相ステンレス鋼の集合組織を考慮した応力分配挙動評価	大阪大学 ○山下 亨介 東北大学 小山 元通 原子力開発 ゴン ウー 川崎 卓郎 ハルヨ ステップス 藤井 浩作 大阪大学 藤井 英俊		14:00 ～ 14:15	休憩	
332	14:00 ～ 14:15	厚鋼板の摩擦攪拌接合性及びはす高周波誘導加熱の影響	龍谷大学 ○原口 勇斗 阪大接合研 森 正和 山下 亨介 森良 好昭 潮田 浩作 藤井 英俊				
333	14:15 ～ 14:30	Friction stir welding of electron beam powder bed fusion additively manufactured Haynes 282 Ni superalloy	Joining and welding research institute osaka university ○Abhishek Sharma Morisada Yoshiaki Ushioda Kohasaku Fujii Hidetoshi	431	14:15 ～ 14:30	青色半導体レーザを用いた純銅溶接での吸収効率の測定	大阪大学 ○竹中 啓輔 デンソー 神田 和輝 高武 恭平 大阪大学 佐藤 雄二 塚本 雅裕
	14:30 ～ 14:45	休憩		432	14:30 ～ 14:45	突合せ継手におけるウォール溶接条件がレーザ照射位置裕度におよぼす影響	○清水 康史 尾崎 仁志 三重大学 川上 博士

第 2 日 (9月25日-木)			
第 1 会場 (6階 研修室①)		第 2 会場 (6階 研修室②)	
129	14:45 ～ 15:00	継手形状・破壊形態によらない溶接疲労平均応力影響評価法に関する一評価法	○松尾 祐希 吉原 幸秀 大阪大学 大沢 直樹 阪大接合研 村川 英一
130	15:00 ～ 15:15	繰返し弾塑性FEM解析による鋼材の疲労亀裂発生・進展寿命評価	大阪大学 ○堤 成一郎 九州大学 豊貞 雅宏
131	15:15 ～ 15:30	繰返し弾塑性応答の異なる鋼の疲労亀裂伝播挙動の実測とFEMによる予測	日本製鉄 ○米澤 隆行 大阪大学 堤 成一郎
132	15:30 ～ 15:45	水素環境下における鋼材の疲労亀裂進展速度予測手法	大阪大学 ○中村 源太 桐生 泰輔 バドヴァ大学 フィンカトリカルド 大阪大学 堤 成一郎
	15:45 ～ 16:00	休憩	
オーガナイズドセッション (疲労寿命推定3) (1-9)			
座長 米澤 隆行 (日本製鉄)			
133	16:00 ～ 16:15	鋼材の疲労亀裂発生・進展挙動に及ぼす弾塑性変形履歴と累積損傷の影響	大阪大学 ○桐生 泰輔 住友重工業 柴田 啓 バドヴァ大学 フィンカトリカルド 大阪大学 堤 成一郎
134	16:15 ～ 16:30	面外ガセット継手の疲労性能に及ぼす分割回し溶接の影響評価	大阪大学 ○田中 颯人 JFEスチール カンウンブン 崎本 隆洋 大阪大学 堤 成一郎
135	16:30 ～ 16:45	付加溶接とグラインダー処理による回し溶接継手の疲労強度向上	川田工業 ○小谷 祐樹 津山 忠久 大阪大学 堤 成一郎
136	16:45 ～ 17:00	溶接継手の疲労性能パラッキ要因のオンサイト自動評価手法	○堤 成一郎 大阪大学 小川 太希 野田 雄也
137	17:00 ～ 17:15	残留応力分布を考慮した重ね継手の疲労寿命推定	日鉄溶接工業 ○野瀬 哲郎
(一社) 日本溶接協会 「次世代を担う研究者助成事業」の成果報告会 14:45～15:45 ① 14:45～15:05 (質疑応答含む) 成田 麻未 (名古屋工業大学) 「マグネシウム-アルミニウム爆着クラッド材の界面構造の熱的安定性および熱間圧延特性」 ② 15:05～15:25 (質疑応答含む) 小川 雅 (工学院大学) 「X線回折を用いた表面改質材の3次元残留応力分布の非破壊評価」 ③ 15:25～15:45 (質疑応答含む) 正箱 信一郎 (香川高等専門学校) 「赤外線放射プラズマ診断法およびラングミュアプローブ法を用いた疑似火星大気中におけるGTA溶接の電子密度計測」			

第 2 日 (9月25日-木)			
第 3 会場 (6階 研修室③)		第 4 会場 (6階 研修室④)	
FSW (異材) (3-8)		座長 森 正和 (龍谷大学)	
334	14:45 ～ 15:00	鉄/アルミ異材摩擦攪拌突合せ接合用ツールにおけるシヨルダのスクロール形状が材料流動に与える影響	豊橋技術科学大学 ○小島 時来 安井 利明
335	15:00 ～ 15:15	ブロー前進角がAl合金/鉄鋼材料の異材突合せSSFSWに及ぼす影響	豊橋技術科学大学 ○安井 利明 竹中 泰蔵 ヤマザキマザック 松原 英司
336	15:15 ～ 15:30	摩擦熱を利用したアルミニウム合金板と鋼板の重ね合わせ接合 溶融亜鉛めっき鋼板(GI)と合金化溶融亜鉛めっき鋼板(GA)の比較	北海道科学大学 ○森 大地 北海道総研機構 植竹 亮太 北海道科学大学 見山 克己 吉田 協
337	15:30 ～ 15:45	レーザー超音波法を用いたCu-Al異材FSW継手品質の非破壊推定法に関する研究	大阪大学 ○野村 和史 石風 昌祥 阪大接合研 ダイヘン溶接・接合協働研 大阪大学 浅井 知智 小倉 卓哉 阪大接合研 森貞 好昭 藤井 英俊
		各種接合・加工 (4-9)	
座長 山本 啓 (大阪大学)			
338	15:45 ～ 16:00	アルミニウムと銅の摩擦攪拌接合	富山県産研開発 ○柿内 茂樹
339	16:00 ～ 16:15	PEO中間層を用いたアルミニウム合金とマグネシウム合金の異材摩擦攪拌接合	栗本鐵工所 ○高 業飛 山本 尚嗣 大阪大学 廖 金孫 森貞 好昭 藤井 英俊
	16:15 ～ 16:30	レール接合部の余盛研削作業への人協働ロボットの適用検討	岩谷産業 ○吉田 佳史 鉄道総合技研 伊藤 太初 日本レヂボン 小川 善行 岩谷産業 吉岡 隆
	16:30 ～ 16:45	自在分離を指向した鋼/Al合金異材接合部での界面脆化制御	大阪大学 ○門井 浩太 平石 祥大 ダイヘン 浅山 智也 恵良 哲生
	16:45 ～ 17:00	水プラズマジェットを用いたAg-SiによるGFRPの表面改質	○堀田 大貴 東京科学大学 山崎 敬久

第 2 日 (9月25日-木-)	
第 1 会場 (6階 研修室①)	第 2 会場 (6階 研修室②)
<p><b>技術セッション13:00～16:30 (参加費:3,000円(税込))(定員30名(先着順))</b></p> <p>燕三条地域は江戸時代初期の和釘製造から始まる金属加工の集積地です。その燕三条地域で開催される本大会で、実際に製造現場を訪問し、ものづくりの原点を振り返る工場見学会を開催いたします。移動中の車窓から越後平野の景色もお楽しみいただけます。燕三条地域での学会の意義を感じて頂けるイベントです。</p> <p><b>見学コース</b></p> <p>Aコース：三条の刃物製造を巡るコース 見学企業：㈱諏訪田製作所：諏訪田の「爪切り」製造：<a href="https://www.suwada.co.jp/">https://www.suwada.co.jp/</a> ㈱タダフサ：和包丁の製造 ブランディング <a href="https://www.tadafusa.com/">https://www.tadafusa.com/</a></p> <p>Bコース：燕の洋食器、金型製造を巡るコース 見学企業：山崎金属工業㈱：ノーベル賞 カトラリー <a href="https://www.yamazakitableware.co.jp/">https://www.yamazakitableware.co.jp/</a> ㈱武田金型製作所：プレス金型、「マジックメタル」：<a href="https://tkd.co.jp/">https://tkd.co.jp/</a></p> <p>Cコース：三条と燕のものづくりをまとめて見学するコース 見学企業：㈱マルト長谷川工作所：ニッパー、ペンチ、ネイルケア：<a href="https://www.keiba-tool.com/">https://www.keiba-tool.com/</a> ㈱玉川堂：鋳起銅器製造：<a href="https://www.gyokusendo.com/">https://www.gyokusendo.com/</a></p> <p>※希望の見学コースを決めなくても申し込み可能です。 ※見学のみで座学はありません。</p> <p>参加申し込みURL <a href="https://forms.gle/S6FanZHVop35TdGDA">https://forms.gle/S6FanZHVop35TdGDA</a></p> <p>※大会参加とは別に技術セッションのお申し込みと技術セッション参加費のお支払いが必要です。 申し込みを受け付け次第、参加証と振込先をご案内します。 参加者が少ないコースは、別コースへの変更などをお願いする場合があります。 定員は各コース10名、3コース合計で30名(先着順)です。</p>	
16:30 ～ 18:30	<p><b>若手の会 ポスターセッション (燕三条地場産業振興センター リサーチコア 7階 マルチメディアホール)</b></p>

第 2 日 (9月25日-木-)	
第 3 会場 (6階 研修室③)	第 4 会場 (6階 研修室④)
<p><b>技術セッション13:00～16:30 (参加費:3,000円(税込))(定員30名(先着順))</b></p> <p>燕三条地域は江戸時代初期の和釘製造から始まる金属加工の集積地です。その燕三条地域で開催される本大会で、実際に製造現場を訪問し、ものづくりの原点を振り返る工場見学会を開催いたします。移動中の車窓から越後平野の景色もお楽しみいただけます。燕三条地域での学会の意義を感じて頂けるイベントです。</p> <p><b>見学コース</b></p> <p>Aコース：三条の刃物製造を巡るコース 見学企業：㈱諏訪田製作所：諏訪田の「爪切り」製造：<a href="https://www.suwada.co.jp/">https://www.suwada.co.jp/</a> ㈱タダフサ：和包丁の製造 ブランディング <a href="https://www.tadafusa.com/">https://www.tadafusa.com/</a></p> <p>Bコース：燕の洋食器、金型製造を巡るコース 見学企業：山崎金属工業㈱：ノーベル賞 カトラリー <a href="https://www.yamazakitableware.co.jp/">https://www.yamazakitableware.co.jp/</a> ㈱武田金型製作所：プレス金型、「マジックメタル」：<a href="https://tkd.co.jp/">https://tkd.co.jp/</a></p> <p>Cコース：三条と燕のものづくりをまとめて見学するコース 見学企業：㈱マルト長谷川工作所：ニッパー、ペンチ、ネイルケア：<a href="https://www.keiba-tool.com/">https://www.keiba-tool.com/</a> ㈱玉川堂：鋳起銅器製造：<a href="https://www.gyokusendo.com/">https://www.gyokusendo.com/</a></p> <p>※希望の見学コースを決めなくても申し込み可能です。 ※見学のみで座学はありません。</p> <p>参加申し込みURL <a href="https://forms.gle/S6FanZHVop35TdGDA">https://forms.gle/S6FanZHVop35TdGDA</a></p> <p>※大会参加とは別に技術セッションのお申し込みと技術セッション参加費のお支払いが必要です。 申し込みを受け付け次第、参加証と振込先をご案内します。 参加者が少ないコースは、別コースへの変更などをお願いする場合があります。 定員は各コース10名、3コース合計で30名(先着順)です。</p>	
16:30 ～ 18:30	<p><b>若手の会 ポスターセッション (燕三条地場産業振興センター リサーチコア 7階 マルチメディアホール)</b></p>

第 3 日 (9月26日-金-)

第 1 会場 (6 階 研修室①)		第 2 会場 (6 階 研修室②)	
AM に関連する周辺技術開発 <1-10>		Al 合金、Ti 合金のワイヤを用いた AM <2-7>	
座 長 木 谷 靖 (JFEテクノリサーチ)		座 長 竹 中 啓 輔 (大阪大学)	
138	9:30 ～ 9:45 レーザ粉末肉盛溶接を用いた微細硬質化合物の高密度肉盛層の造形	228	9:30 ～ 9:45 析出強化型 2319 アルミニウム合金のワイヤーク積層造形過程でのマイクロ組織形成機構
139	9:45 ～ 10:00 Laser powder bed fusion による軽水炉用燃料下部ノズルフィルターの開発	229	9:45 ～ 10:00 ACパルス MIG 溶接による Al 合金積層造形材の形状および機械特性に及ぼす EN 比率の影響
140	10:00 ～ 10:15 高速造形を達成する線形振動固相積層造形法の開発	230	10:00 ～ 10:15 ホットワイヤ法による造形が A7075 の造形現象および組成に与える影響 ホットワイヤ・レーザ AM による高強度アルミニウム合金の造形 (第1報)
141	10:15 ～ 10:30 アークプラズマ駆動メタルジェットによる造形プロセスの熱源現象解明に向けた数値シミュレーションモデルの開発	231	10:15 ～ 10:30 ワイヤ+アーク式によるマグネシウム-チタン材の異種金属積層造形の基礎的調査
142	10:30 ～ 10:45 アークプラズマ駆動メタルジェットによる造形プロセスの確立とビード高精細化に向けた検討	232	10:30 ～ 10:45 Ti-6Al-4V 合金のプラズマアーク積層造形におけるパルス溶接電流条件の影響
		10:45 ～ 11:00	休 憩
		鋼の AM <2-8> 座 長 古 免 久 弥 (大阪大学)	
	233	11:00 ～ 11:15	キーホール型溶融を利用した鋼のアドティブマニファクチャリング
	234	11:15 ～ 11:30	ワイヤーク積層造形におけるオーステナイトステンレス鋼の機械的特性に及ぼす層間温度の影響
	235	11:30 ～ 11:45	炭素鋼積層造形部材の破壊挙動に及ぼす局所靱性の影響の基礎検討

第 3 日 (9月26日-金-)

第 3 会場 (6 階 研修室③)		第 4 会場 (6 階 研修室④)	
FSSW <3-9>		インプロセスモニタリング <4-10>	
座 長 三 浦 拓 也 (大阪産業技術研究所)		座 長 伊 藤 和 博 (大阪大学)	
340	9:30 ～ 9:45 統計的手法による摩擦攪拌点接合強度の予測	441	9:30 ～ 9:45 溶接スバット計数アプリによる生産性・品質モニタリングに関する検討 溶接スバット計数アプリの開発 (第2報)
341	9:45 ～ 10:00 Al 合金/鋼のスクラビング複動式摩擦攪拌点接合過程における超硬合金製ツール温度	442	9:45 ～ 10:00 溶接音による外乱検知 AI システムの開発
342	10:00 ～ 10:15 Al 合金/鋼のスクラビング複動式摩擦攪拌点接合におけるツール温度に及ぼす接合条件の影響	443	10:00 ～ 10:15 プラズマ切断音のモニタリングによるノズル劣化検出方法の開発
343	10:15 ～ 10:30 摩擦熱を利用した鋳鉄とアルミニウム合金板の接合 - 第2報 - 母材への加工影響および接合層組織	444	10:15 ～ 10:30 AE 計測を用いたレーザ溶接溶け込み深さインプロセスモニタリング (第2報)
344	10:30 ～ 10:45 回転ツールを用いた Al/PMMA 点接合継手強度と接合条件の関係	445	10:30 ～ 10:45 レーザ超音波によるレーザ溶接溶け込み深さの非接触計測方法の開発
345	10:45 ～ 11:00 異種金属点接合部の界面破壊クライテリア明確化のための複合荷重試験法の提案	446	10:45 ～ 11:00 肉盛溶接品質推定のための U-net を用いた溶融池特徴量抽出に関する研究 第2報 複雑特徴量抽出に対するデータ数とデータ拡張の影響
		11:00 ～ 11:15	休 憩
		溶接教育・トレーニング <4-11> 座 長 野 村 和 史 (大阪大学)	
	447	11:15 ～ 11:30	技能評価と保有資格を考慮した溶接士の多視点的評価
	448	11:30 ～ 11:45	溶接トレーニングにおける溶接ビード形状の自動評価および溶接不完全部の可視化

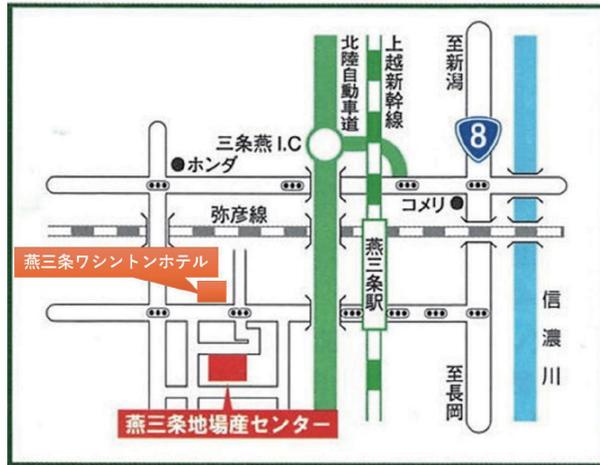
第 3 日 (9月26日-金-)			
第 1 会場 (6階 研修室①)		第 2 会場 (6階 研修室②)	
	236	11:45 ↓ 12:00	低合金鋼積層造形材表層への電気パルス付与による微細組織変化と残留応力変化との関係 大阪大学 ○渡邊 大翔 阪大接合研 伊藤 和博 インド工科大学 ヴィシュヌ・エヌ・エヌスリヤカマール

第 3 日 (9月26日-金-)	
第 3 会場 (6階 研修室③)	第 4 会場 (6階 研修室④)

**交通案内**

大会会場：燕三条地場産業振興センター リサーチコア  
 (新潟県三条市須頃1丁目17番地)

懇親会会場：燕三条ワシントンホテル  
 (新潟県燕市井土巻3-65)  
 ※燕三条地場産業振興センター向かい



JR上越新幹線 燕三条駅（燕側出口）から徒歩5分  
 北陸自動車道 三條燕インター近く 三條燕バス停から徒歩15分  
 ※駐車場は混み合いますので、公共交通機関をご利用ください

**アクセス方法**

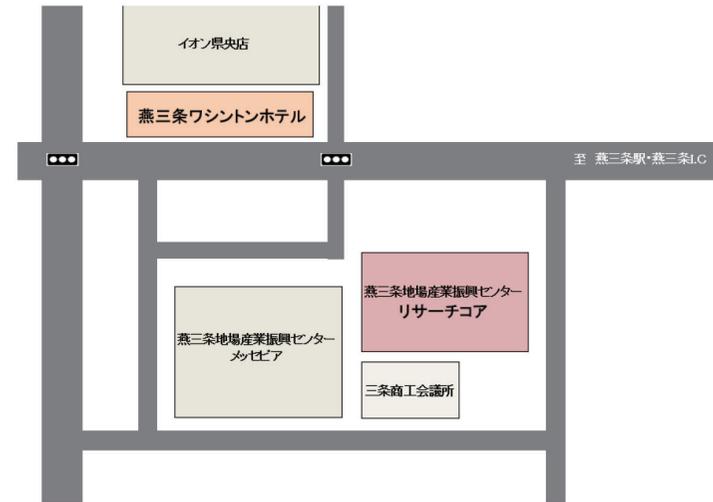
●JRでの所要時間

東京	約2時間(上越新幹線)	燕三条駅
名古屋	約4時間(東海道・上越新幹線)	
大阪	約5時間(東海道・上越新幹線)	
新潟	約15分(上越新幹線)	

●空路での所要時間

新千歳空港	約1時間15分	新潟空港	バス 25分	新潟駅	JR 65分	燕三条駅
名古屋空港	約50分					
大阪国際空港(伊丹)	約1時間					
福岡空港	約1時間40分					
成田空港	約1時間5分					
					バス 50分	三條燕IC

**会場配置図**

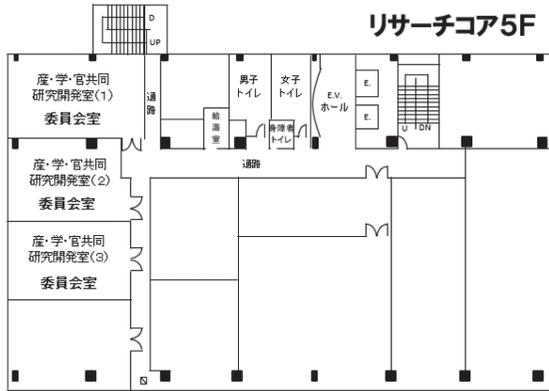


燕三条地場産業振興センター リサーチコア外観

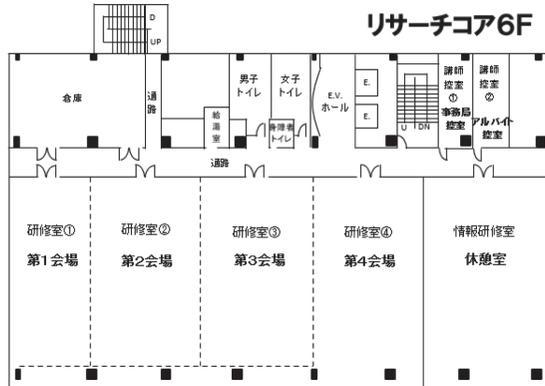


リサーチコア出入口  
 受付 (1階玄関ホール)

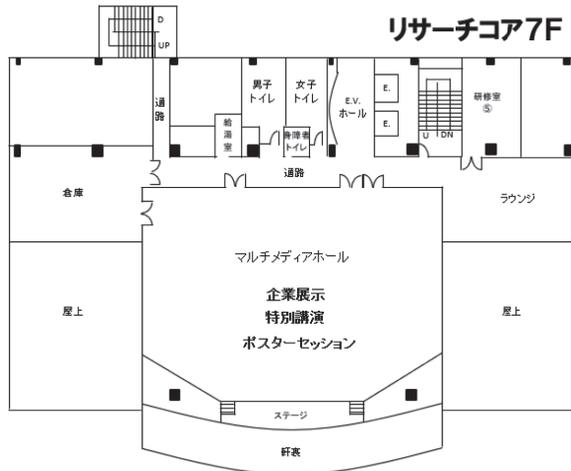
### リサーチコア5F



### リサーチコア6F



### リサーチコア7F



受付	1階	玄関ホール
第1会場	6階	研修室①
第2会場	6階	研修室②
第3会場	6階	研修室③
第4会場	6階	研修室④
企業展示	7階	マルチメディアホール
特別講演	7階	マルチメディアホール
ポスターセッション	7階	マルチメディアホール
研究推進部会	5階	産学官共同研究開発室 (1)
支部長連絡会議+教育委員会 合同会議	5階	産学官共同研究開発室 (1)
理事会・支部長会議	5階	産学官共同研究開発室 (1)
全国大会運営委員会	5階	産学官共同研究開発室 (1)
若手会員の会 運営委員会	5階	産学官共同研究開発室 (2)
溶接接合工学振興会	5階	産学官共同研究開発室 (3)
休憩室	6階	情報研修室
事務局控室	6階	控室①
アルバイト控室	6階	控室②